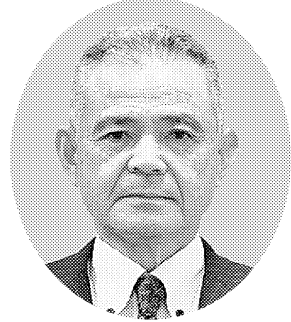


◇2026年 年頭所感

電気工事業の魅力を発信

佐賀県電気工事業工業組合理事長 古賀 正信



新年あけましておめでとう
ごさいます。
皆様方には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素より当組合の事業運営に對しまして多大なご協力ご支援をいただき厚く御礼申し上げます。
昨年はアメリカで第二次ト

景況感の実態は必ずしも上向きとは言えない状況が続いております。
そのような中、組合では青年部会を中心に業界に若者を呼び込もうと、例年続けている高校生との交流事業を通して電気工事の説明を行う「出前授業」を県内2校で行い、アンケートでも「やりがいを感じられた」「就職に興味をわいた」など前向きな意見をいただきました。また、本年度佐賀県でアウトオブキッツニアが開催され、組合からも「電気工事士の仕事」で参加し、配線作業や照明器具の取付等を子供たちに体験してもらい、ものづくりの楽しさを伝えることが出来、大いに業界PRに繋がれたものと思ひます。今後もこのような活動を通じて魅力を発信し、一

人でも多くの若手人材の入職に繋げていけるよう業界あけて進めていきたいと考えております。
一方、上部団体であります全日電工連主催の全国大会が北海道札幌で開催され、全国から約1600名の組合員及び関係者が参加いたし、業界の社会的価値の向上と発信力の強化を図り、憧れられる業界を目指した取り組みを進めていくことが決議されました。大会で行われた組合活性化研修会で、佐賀県がエントリーした「組合組織統一化事業」が優良事業工組で銀賞に輝き、事例発表を行うなど記録にも記憶にも残る大会となりました。

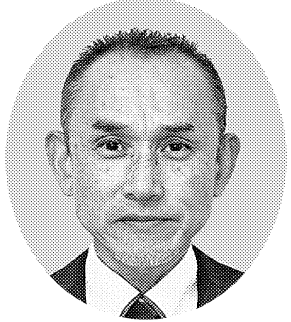
佐賀県工組の事業として、30回を迎えた電気工事業安全大会を約200名の組合員参加のもと開催し、熱中症対策やフルハーネス器具の最新情報の共有等安全に関する教育を行いました。また安全啓蒙の一環である電気工事業労働安全標語については組合員から多数の応募をいただき、審査の結果「安全は、確認作業の、積み重ね」が見事金賞に選ばれ、組合としての一年を通しての安全スローガンとして、組合員の労働災害ゼロを目指す指針となりました。その他、来年横浜アリーナで開催の技能競技全国大会佐賀県代表を決める技能競技大会佐賀県大会の開催や、フルハーネス特別教育、各支部で行っている昇柱訓練等、組合員に対する技術技能の向上や安全に資する取り組みも実施してまいりました。

また災害への備えも重要で、非常時の災害等に備えるために、組合では佐賀県との間で締結している防災協定、さらに九州電力送配電との非常災害における復旧応援業務等を締結しており、毎年組合員による非常災害訓練を九電協力のもと実施し、災害対策に對応できる体制を整備しております。今後とも地域のライフラインを守り、「安全・安心」「確実に電気をお届けする」という社会の負託に応えらるる組合組織となるよう尽力していく所存です。

最後になりますが今後関係各位のご助言、ご指導をお願い申し上げますとともに、皆様方の益々のご健勝とご発展を心から祈念いたし、よい未来へ希望に燃え、飛躍の年になりますことを願ひ新年の御挨拶といたします。

働き方改革を推進し、業界に人材を呼び込む

佐賀県電業協会会長 脇山 良昭



新年あけましておめでとう
ごさいます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年を振り返りますと、政治面では10月の石破首相退陣表明の後行われた自民党総裁選で高市早苗氏が当選し、日本初の女性首相が誕生したことは日本にとって大きな転機になったものと思ひます。また経済面ではトランプ政権による関税政策で、日本を含む世界中がその対応に追われましたが、そのような中でも

日経平均株価が初めて5万円を突破するなど、政治・経済面で変化の著しい年でありました。
さて当協会の上部組織であります日本電設工業協会では、2025年度会員大会を広島で開催いたし、第四次アクションプラン(2024～2027)2年目として、「働き方改革を深化させ担い手確保に向けて業界の総力をあげて取り組もう！」をメインテーマとする次世代への人材確保方策を強化する大会決議が採択されました。特に働き方改革については、本部によるアンケートで22年度に「4週6休(52%)」が主流だった

のに対し、24年度は「4週8休(42%)」が主流となるなど、業界一丸となって進めてきた改革が着実に成果を上げており、当協会もその流れのもと働きやすい環境づくりを推進し、若い人材の担い手確保に総力をあげて取り組む所存です。
2025年度の当協会事業活動においては、事業計画にも掲げております重点事業として、自治体への陳情活動として、役員及び会員協力のもと、県内20市町に対し実施いたしました。本年度も分離発注や地元業者活用のお願いの他に、適正工期の確保と長時間労働の是正、更には近年増え

る公共施設等におけるリース発注方式に対する業界としての意見・要望についても各自自治体関係者に直接説明いたし、団体の一致結束した行動を指し示すことができました。
会員の技術・技能向上としては、本年度は業界にとつて必要不可欠な資格である「1級電気工事施工管理技術検定」の第一次、第二次検定試験対策として講習会を実施し、多数の受講者に参加いただき合格目指して開催しました。その他、地域への社会貢献活動として、県の施設である「北山少年自然の家」において、施設内の高所天井及び屋内外の照明設備等の清掃活

動を行いました。当日ローリングタワーを組んで普段清掃することが出来ない高所の照明等も清掃するなど、施設からも大変喜んでいただきました。今後も、当協会では地域に貢献できる業界、働き方改革推進による業界の一層の発展等を目指して各種活動をしていきたいと考えております。
最後になりますが、これからも関係各位よりご支援ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げますとともに、2026年が、明るい年でありますよう、皆様方の益々のご発展、ご健勝を祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。

